

# 令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立若楠小学校 児童数 305人	担当者名	稗田 志乃 松枝 幸 天野 絵美
住所	郵便番号 849-0926 佐賀市 若宮三丁目2番1号	電話番号	0952-31-5051

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	全校で伝え合おう！本のおもしろさ
	取組期間	令和3年 4月12日 ~ 令和3年 11月30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

取組人数	305人	実施日数	約160日	読書冊数	32,888冊	連携した団体数	1団体
取組内容 (概要)	<p><b>①本のおもしろさや読書の楽しみを広げる取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読書郵便・・・本のおもしろさを郵便で伝える。</li> <li>○本のポップ作りと紹介・・・図書委員会と先生のおすすめ本のポップを月ごとに紹介する。</li> </ul> <p><b>②本のおもしろさを味わう取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ゴジラの会」による読み聞かせ・・・保護者の読み聞かせグループによる放送による全校への読み聞かせを朝の時間帯に行い本の楽しみを味わう。</li> <li>○私の読んだ本の日記・・・③の「ブックチャレンジ」の本の感想をカードに残していく。</li> </ul> <p><b>③本とつながるきっかけを作る取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コラボ給食・・・本に出てくる料理を味わう。</li> <li>○ブックチャレンジ・・・スタンプカードを使って、各学年おすすめの本30冊に親しむ。</li> <li>○ラッキーブック・・・いろいろな分類の本に親しむ。</li> <li>○すくすく読書の木・・・100冊単位で、個人の貸し出し冊数を「読書の実」で表し、本を借りる意欲を高める。</li> </ul> <p><b>④図書館祭り(年間2回)の取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あじさい祭り(6月)・・・おすすめ本ビンゴ、ぬり絵コンテスト、宝くじ、読書ゆうびん</li> <li>○もみじ祭り(11月)・・・おすすめ本クイズ大会、しおりコンテスト、宝くじ、「ゴジラの会」読み聞かせ、読書ゆうびん</li> </ul>						
工夫したこと	<p><b>①本のおもしろさや読書の楽しみを広げる取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読書郵便 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が読んだ本のおもしろいところを図書館発行のはがきを書いて、相手に伝える活動を通して、全校児童が互いに本への興味を広げ合えるようにする。</li> <li>・はがきやポスト等は図書委員会で制作・収集・配達する。全校に紹介したい内容のものについてはピックアップして掲示し、図書館内で紹介する。</li> </ul> </li> <li>○本のポップ作りと紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員と図書委員会の職員で月ごとにポップを作り、ラミネートして掲示して紹介する。その本を読んだの感想やおもしろさ、おすすめ理由などを書いたり、続きが気になるコメントや見出し・イラスト等をつけたりして、児童が関心をもつよう工夫した。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>②本のおもしろさを味わう取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ゴジラの会」による読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゴジラの会」の方には毎年読書活動で協力していただいている。コロナ禍以前は、毎週火曜日に各クラスで本の読み聞かせや素話をしていただいていた。昨年度、今年度は感染予防のため、5月まで各クラスでの読み聞かせは中止したが、6月から放送による読み聞かせを開始。全校児童が一つの話を、耳をすませて、心を寄せて聞くことで、本の楽しみを共有する工夫ができた。また各クラスでの読み聞かせは、11月から再開となり、感染対策を十分に行った上で行った。</li> </ul> </li> <li>○私の読んだ本の日記 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童に配布している「わたしの読書記録カード」には、外側に目標冊数とブックチャレンジシール欄を設け、カード内側には、ブックチャレンジの本30冊と分類の表、読んだ日を書く欄、そして、「私の読んだ本の日記」の欄を印刷し、カードをいつもブックバックに入れて持ち歩けるようにした。</li> <li>・日記の欄には、おすすめポイントやおすすめ度(☆印をぬる)、感想の記入欄を設け、5つ全部の欄に記入できた児童には、図書館から貸出券をプレゼントした。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>③本とつながるきっかけを作る取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コラボ給食 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達に人気のある、「崖の上のポニョ」(→五目ラーメン)、「風立ちぬ」(→さばの味噌煮)、「ルパン三世カリストロの城」(→ミートボールスパゲッティ)、「おしりたんてい」(→カレーライス)、の話の中に出てくる料理を</li> </ul> </li> </ul>						

	<p>給食で再現し、それを給食時間に本の画像と共に紹介した。また、紹介した本を給食コーナーに掲示し、児童が手に取って見られるようにすることで、料理のことだけでなく、料理が出てくる他の本にも関心を広げたり、そのシリーズの本に目を向けたりできるようにした。</p> <p>○ブックチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書教材に関係のある本や、教科書で紹介されている本、その学年の発達段階に適した本等を、図書館司書や図書館担当職員が選び、そのコーナーの本棚を設けて、読書推進を行った。また、「わたしの読書記録カード」に本の一覧と読んだ日の記録欄、シール欄を設けて、児童が興味をもちながら、視覚的に分かりやすい足跡を残していける工夫を行った。</li> <li>30冊を達成できた児童には、「読書王認定証」とご褒美（貸し出し券）を贈り、称賛している。</li> </ul> <p>○ラッキーブック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>月ごとに、児童に注目してほしい分類を決めて、「今月のラッキーブックは〇類です。」といった案内版を掲示している。その分類の本を借りると、さらにもう一冊借りることができる。また、「ラッキーブックカード」にスタンプが5個貯まった児童には、貸し出し券をプレゼントしている。</li> </ul> <p>○すくすく読書の木</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸し出し冊数に応じて、色付きの「みかんの実」を全校児童に貼らせていく。始めは50冊から、100冊、200冊…と100冊単位で、貼りつけるみかんの実の色を変えて（※1）一人一人の本の貸し出し冊数のおおよそが、掲示物によって一目で分かるようにしている。図書室前の廊下に掲示することで、自分がどのくらい読んだか、友達はどのくらい読んでいるか、他読者はどのくらいまで到達しているか等が分かり、児童の本を借りる意欲を高められるようにした。（※1 500冊以上は星の形）</li> </ul> <p><b>④図書館祭り(年間2回)の取り組み</b></p> <p>○あじさい祭り（6月）→図書委員会が計画準備をして開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書ゆうびん・・・校内用のポストは図書委員で作成して設置し、手作りののがきを各クラスに配布して、2週間の期間を設け、それぞれのクラスで取り組むようにした。</li> <li>おすすめ本ビンゴ・・・図書委員と司書が選んだおすすめの本を60冊準備し、それぞれの本に番号を付け、その番号を利用してビンゴ大会を行うお楽しみイベント。先に本の題名を紹介してから番号を伝えることで本への興味を高める工夫をしている。各クラスから5名に絞り、空間の広い体育館で行うことで、密にならない配慮も行った。</li> <li>ぬりえコンテスト・・・図書委員会が選ぶいくつかの本の表紙をぬり絵の課題にして、一人につき一枚のみ参加できるようにしている。全校賞や学年賞、先生賞などの様々な賞を用意し、入賞者作品は図書館周辺に掲示し、児童が図書館へ足を運ぶきっかけを作っている。</li> <li>宝くじ・・・全校児童に一枚ずつくじを配付し、図書館来館時に持参したくじを応募させている。図書館に楽しみに来る児童を増やす目的で行った。図書委員で応募くじからあたりを選出し、紹介する。</li> <li>図書委員会が中心となって、事前・事後に放送やポスターで宣伝や結果紹介を行ったり、景品を手作りしたりして、全校児童で盛り上がるように工夫して取り組んでいる。</li> </ul> <p>○おみじ祭り（11月）→図書委員会が計画準備をして開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本クイズ大会・・・各クラス3名ずつの参加者を募り、本の内容を短歌調にまとめた読み札を図書委員が読み、掲示した4冊の本から答えの本を選んで回答してもらうというクイズ形式の大会を行った。例年は、読み札を読み、本を取り札に見立てたかるた大会を行っていたが、本を取る際に密になるため、今回は形式を変更して行った。</li> <li>しおりコンテスト・・・図書館にしおりコーナーを設け、参加希望者がオリジナルしおりを作って参加できるようにする。提出された作品は、ラミネート加工して模造紙に掲示し、全校児童に人気投票をしてもらう。図書館でいろいろな児童の作品を見られる楽しみをもたせることで、児童の来館を促している。</li> </ul>
<p>取り組んだ  感想</p>	<p>今年度、初めて「スクール読書チャレンジ」に参加したが、それをきっかけに、本校で今まで行ってきた様々な取り組みが、それぞれどのような目的をもち、どのような効果があるのかを再確認することができた。そして、司書教諭と図書館担当、担任、地域の団体とのつながりの大切さにも気付くことができた。</p> <p>また、児童が図書館へ足を運んだり、本への興味を高めたりするためのきっかけを作ったところ、始めは貸出冊数にこだわる傾向があった。しかし、徐々に児童それぞれが自分の好きな本に出会い、空いた時間を見つけては熱中して読む姿を多く見かけるようになった。このことは、図書館教育に携わっている中で一番嬉しいことであった。</p>
<p>これまでの取 組や 今後の取組予 定</p>	<p>これまでの取り組みは、上記に挙げたことがほとんどであり、職員が入れ替わっても、それらのよさを受け継いで大切にしてきた。今後は、本への親しみをさらに深めたり、読書の面白さ・楽しさを味わったりできるように、児童がじっくり読書を楽しめる環境や時間を確保し、地域との連携を生かして、読書活動を進めていきたいと考えている。</p>

# 資料

## 常時活動

### ブックチャレンジの本コーナー



### 今月のラッキーブックのお知らせ



### ゴジラの会による朝の読み聞かせ



季節の話や身近な話も交えて、子供たちの興味に寄り添った読み聞かせに、心が引き込まれます。

## 図書館祭り



### しおりコンテスト応募コーナー



### 読書ゆうびん用ポスト



### すてきなはがきの紹介



### しおり投票コーナー



## 図書館祭り(続き)

### 読み聞かせ会(ゴジラの会)



同じシリーズの絵本を3冊同時に読んでくださり、その展開の共通点にワクワクしながら、聞くことができました。

### 本クイズ大会



前面にクイズの本を並べると、「あっ!この本、読んだことある!」、「知ってる!市立図書館でも見た!」などと、本に親しみをもつ子たちの言葉が飛び交います。

### ぬり絵大会 入賞作品紹介



### コラボ給食

#### 本の紹介コーナー



「わかったさん」や「ジブリ」などは、紹介されるとシリーズ全体を読みたいと借りにくる子がたくさんいます。

## コラボ給食

6月7日「崖の上のポニョ」～五目ラーメン～



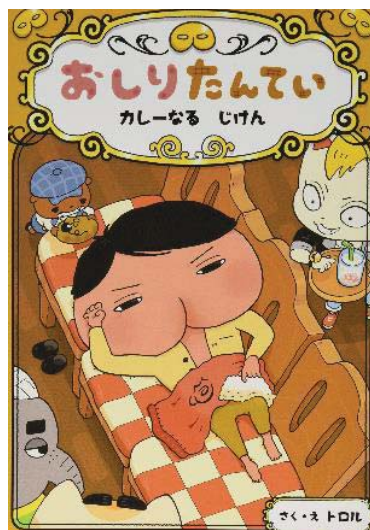
8日「風立ちぬ」～さばのみそ煮～



9日「ルパン三世カリオストロの城」  
～ミートボールスパゲッティ～



11日「おしりたんてい」～カレーライス～

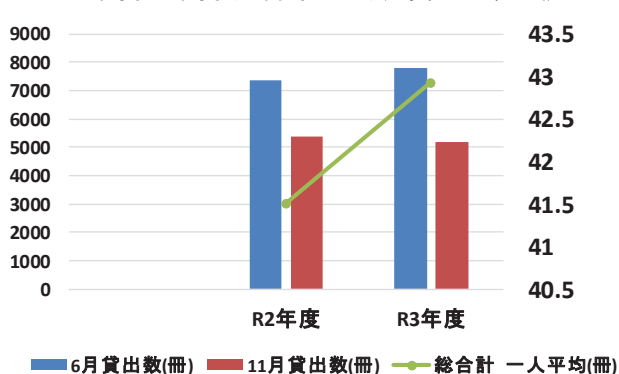


R2年度 R3年度 図書館祭り月貸出冊数比較

貸出冊数比較(児童数は5.1統計)

	R2年度	R3年度	貸出数伸び率
児童数(人)	308	303	
6月貸出数(冊)	7393	7826	
6月貸出数 一人平均(冊)	24.0	25.8	1.08
11月貸出数(冊)	5393	5183	
11月貸出数 一人平均(冊)	17.5	17.1	0.98
総合計(冊)	12786	13009	
総合計 一人平均(冊)	41.5	42.9	1.03

R2年度R3年度 図書館まつり月貸出冊数比較



今年度6月に初めて「読書ゆうびん」に取り組んだところ、児童の一人当たりの貸し出し冊数が、昨年度の41.5冊から、42.9冊へと増加した。また、今年度のみ、コロナ対策として、図書館利用日や時間帯を学年を決めて制限していたが、利用者的大幅な減少が見られなかった。このことから、児童が本への興味をもち、時間を見つけて図書館へ足を運んでいたことが考えられる。